

## ジュニアペガサス サービス自己評価表（2017年12月実施）

当事業所では、提供するサービスの質について、保護者の皆様へのアンケート調査結果も踏まえ自己評価を行っております。指定基準を満たしたうえで、より良いサービス提供を目指し、自己評価の結果を公表することで、皆様に安心してご利用いただく一助となればと考えております。なお、この評価基準は、厚生労働省が定める「放課後等デイサービスガイドライン」の基準をもとに作成しております。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		屋内は活動スペースが確保されているが、専用の庭やテラスがない。近くの公園に行く等して屋外での活動を確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか		○		人数及び資格等、基準以上の配置がされている。その中で業務のやり方を見直す等して工夫している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	外階段から入室する形なので配慮されているとは言い難い。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			事業計画の評価を年1回行っている。各プログラム毎に全職員で振り返りをしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートを基に改善を図っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			○	今回からHPで公表することになった。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			法人全体で第三者委員会が行われている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			法人内外の研修に参加している。
適切な 支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			契約時の面談、その後の個別支援計画時等によりニーズをお聞きし、反映させている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		ケース検討において、子どもの適応行動の状況について検討する際に参考にすることはあるが、独自に使用してはいない。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎月の会議の中で議論しながら立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			利用者の年齢、発達段階等を考慮し、屋内外の活動や季節感等を取り入れ工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇には平日の利用では難しい活動を取り入れている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別活動から集団活動へと段階を追って広げていく計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前には必ず打ち合わせを行い、前回の利用者の振り返りや気を付ける事等の確認をしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		個人記録を記入する時や、打ち合わせの時に利用者の様子や保護者からの情報共有に努めている。

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個人記録には、出来るだけ具体的に本人の言動や支援の内容を記録するよう努め、ケース検討や支援計画の振り返りの際に検証している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			年2回の計画の見直しと、必要に応じてケース検討を行い、支援方法などを見直している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			運動、制作、おやつづくり、外出活動、話し合い活動、お手伝い等、様々な活動とその支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			主に児童発達支援管理責任者が出席し、必要に応じてふさわしいものが参加している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校への迎えの際にはできる限り情報交換を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在は医療的ケアが必要な利用者がいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			入室前の引継ぎや保育所等訪問支援の報告を受けたり、必要に応じて情報共有を行ったりしている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	まだ学校を卒業した利用者がいない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			必要に応じ携を図っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	公園に行った時に同じ遊具を使う等しているが、機会はそれほど多くはない。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			柏市のこども部会に参加し関係情報の入手や関係事業者との交流をしている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時や連絡帳で情報を伝えあったり、相談したりしながら進めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	保護者からの相談があった時には、連絡帳や送迎時、電話等で個別に相談に応じている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用契約時に行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか			○	連絡帳や電話、面談等で相談に応じている。

保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		年に1回、保護者会を開催している。保護者同士の連携を支援するような活動を増やしていきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情や相談があった場合には、迅速に対応する体制を取っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月のご利用案内とともにニュースを発行している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		注意して扱っている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		子ども一人ひとりの意思伝達手段を尊重し、自己決定ができるよう配慮している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		法人では青葉祭など、お祭りを開催している。
	非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○
39		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年に一度実施しているが、対象者が限定されている。訓練の回数を増やしたり、実施の様子をお知らせしたりしていく。
40		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		研修機会や情報共有を行っている。
41		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○	現在身体拘束を要するケースはないため特に行っていない。
42		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	保護者の指示で対応している。
43		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○	情報の共有はしているが、事例集を作成するには至っていない。